



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

G7富山・金沢教育大臣会合が開催されました

～富山・金沢こどもサミット宣言書、夢や目標を持ち自分のよさや可能性をいかすことや多様性を受け入れ他者を理解・尊重すること～

13日(土)のG7教育相会合では、富山市と金沢市の中高生がとりまとめた「富山・金沢こどもサミット宣言書」についても、意見交換が行われました。この宣言書は、ことし3月に開かれた「富山・金沢こどもサミット」でよりよい未来のためにできることについて生徒たちが考えたことをまとめたものです。宣言書には、夢や目標を持ち自分のよさや可能性をいかすことや、多様性を受け入れ他者を理解・尊重することなどが記されています。

13日に開かれたG7教育相会合では、富山市と金沢市から10人の中学生が出席して、各国の閣僚と意見交換を行いました。閣僚が、コロナ禍でどのような教育を受けてきたのか、マスクをつけて大変だったことなどを質問したのに対して、大沼さんをはじめ各県の代表生徒たちは積極的に自分の考えを述べていました。

意見交換に参加した代表生徒のみなさんは「人生であるかないかの経験だったので緊張したが、海外の方と話すことができいい経験になった。これからの人生にいかしたい」と話していました。



【NHK 富山 NEWS WEB 記事参照】

学校や学級の生活に慣れてきたときだからこそ、考えてみよう!

～いじめ深刻化のキーワード アンバランスパワー・シンキングエラー～

【アンバランスパワー】

多くのいじめ研究者が、いじめの特徴に「加害者と被害者の間にアンバランスパワー(力の差)が存在する」としています。つまり加害者のほうが、被害者に比べて強い力を持っているということです。これがいじめ関係の中にあると大変です。なぜなら、被害者・力が弱い方は、加害者・力が強い方に対して、やり返すことどころか、「いやだ」「やめてほしい」と言うことさえできなくなるからです。場合によっては、にこにこ笑って、何も傷ついていないふりをする事さえあります。アンバランスパワーがあると、被害者は何もできない状況に追い込まれてしまいます。

→いじめの加害者に対して「や・は・た」行動を取ることで、いじめ行為をとめる効果が高いことが研究で分かっています。「や」とは「やめてを言う」、「は」とは「その場をはなれる」、「た」とは「たすけを求めます」です。

【シンキングエラー】

シンキングエラーとは、「間違った考え」を意味します。例えば、いじめ加害者が言う「あれはいじめじゃなくて、遊びだ」「みんなやっているから問題ない」「相手も喜んでた」などというのは、相手の気持ちを考えないことからくる、シンキングエラーです。また、いじめの被害者が言う「自分が悪いからいじめられても仕方がない」「誰かに相談しても仕方がない」というような考えもシンキングエラーに当たります。大人(先生や保護者など)だって同じです。だから、いじめをなくしたいと考えたら、子どもも大人も自分がシンキングエラーを起こしていないかを、チェックすべきなのです。

→トラブルが生じたときに、「自分は悪くない」「自分は間違っていない」と主張することが多々あります。たいいていの場合、「シンキングエラー」を起こしていますが、ほとんどの人が冷静になって考え直せばそのエラーに気が付きます。

明日16日(火)6限(14:40～)は、金沢市中学校体育大会・春季大会の激励会です
保護者の方も参観できます。ぜひ選手のみなさんに熱いエールを! ※参観される方は14:30までに体育館にお越しください